

臭わない
都市型農業
の味方！

高温発酵
雑草種子が
ほぼ無い！

半年熟成
良質の
完熟堆肥

10対1で
混ぜるだけ

高速発酵
させた
完熟堆肥

多品目原料で
有効菌の
種類も豊富

減塩処理済
塩害の心配は
ありません！

化学添加物
含まれて
いません

ECO
for the
Earth

LOVE
to the
Crops

完全有機質堆肥料
乳牛ふん堆肥 50%配合

アサギリ MIX

土壌
改善

運びやすい
小袋
タイプ

10
袋 kg

15
袋 kg

植物
育成

良質の完熟堆肥だからこれ一つ！

元肥／追肥／お礼肥／芽出し肥として

花 茶 米 葉 根 果 鉢 庭

様々な作物、様々な場所にご利用いただけます！

食品などの有機廃棄物を高速発酵させてつくった「完全有機物堆肥」と「乳牛ふん堆肥」を配合した肥料、それが『アサギリ MIX』です。有効微生物・有効菌・ミネラルを多く含む成分が病害を減らし、根を活性化させ、作物の良品増収をサポートします。



LOVE to the Crops

アサギリ MIX に含まれる成分

表1

肥料成分	窒素	1.6%
	リン酸	2.0%
	加里	0.85%
有害物質	ヒ素	1.0mg / kg 以下
	カドミウム	0.1mg / kg 以下
	水銀	0.1mg / kg 以下

安全で美味しい作物をたくさん育てるには
元気な土壌が必要です。

農業や化学肥料を使い続けると、やがて作物づくりができない土壌になってしまいます。土の中に含まれる微生物やミネラルが減り、生態系が壊れてしまうのが主な原因です。コンポストから生まれた『アサギリ MIX』には、微生物とミネラルがたくさん含まれています。微生物は堆肥を分解して作物の栄養をつくり、ミネラルは微生物の活動をより活発にします。つまり、微生物とミネラルは有機農業界の名コンビ。この二つが助け合うことで、安全で美味しい作物が育つ元気な土壌が生まれるのです。

※平成16年、東京農業大学富士畜産農場調べ・牛糞100% からなる牛糞堆肥と比較

試験レポート

アサギリ MIX を使ったら、土壌も作物も喜んでくれました。

作物が、より大きく育ちます。

牧草の草丈について調べたところ、アサギリ MIX を施肥した土壌のほうが、より大きく育つことがわかりました。

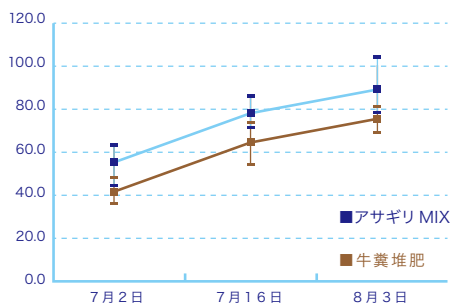


図1. 草丈の推移

作物が、いっそう元気に育ちます。

緑の濃さを調べるために、牧草に含まれる葉緑素を調査。アサギリ MIX を施肥した土壌のほうが、より緑が濃いという結果が出ました。

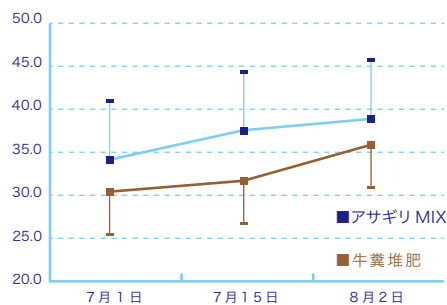


図2. 葉緑素の推移

作物が、たくさん収穫出来ます。

施肥後55日が経過した時点で牧草を刈り取ったところ、アサギリ MIX で育った土壌の方が、収量が多くなりました。

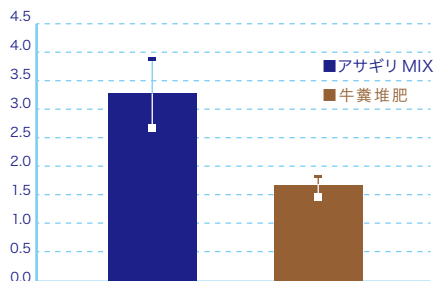


図3. 収量調査

もちろん、作物は安全です。

収穫した牧草中に含まれる有害物質を計測したところ、アサギリと牛糞堆肥はほぼ同等であることがわかりました。

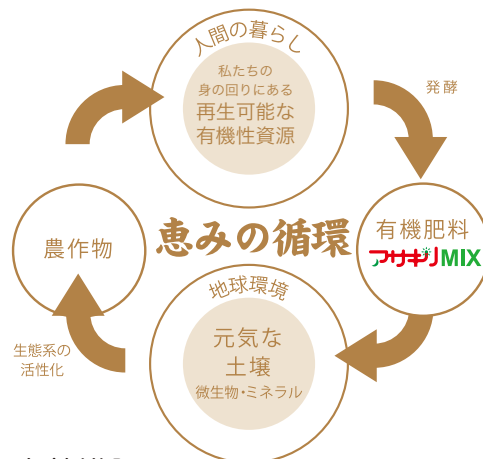
試験項目	単位	アサギリ MIX	牛糞
灰分	%	8.8	8.5
水銀	mg/kg	0.1未満	0.1未満
カドミウム	mg/kg	0.1未満	0.1未満
鉛	mg/kg	0.1未満	0.1未満
クロム	mg/kg	2.8	2.8
ヒ素	mg/kg	0.1未満	0.1未満
銅	mg/kg	9.9	7
亜鉛	mg/kg	65.3	49.8
ニッケル	mg/kg	1.8	1.3
アルミニウム	mg/kg	48.9	42.2

表2. 牧草中有毒物質含有試験 ※上記は、乾物の値です。

恵の循環

地球に優しいことを考えたら、『恵の循環』にたどり着きました。

『アサギリ MIX』は、「環境」という発想から生まれた有機肥料です。有機肥料というと牛糞や糞などのみからつくるものと思われがちですが、『アサギリ MIX』の原料は、牛ふんを主原料に食品工場などで廃棄される有機物と配合した肥料です。通常なら焼却処分されるものを、独自のシステムで発酵させます。大地の恵でもある作物を人間が食べ、その残りを肥料にして地球に還す……。『アサギリ MIX』は人間の暮らしから発生する有機物を「循環」させることから生まれた肥料です。焼却処分でも発生する CO2 を減らす効果もあります。



ECO for the Earth



製品紹介&特集記事／プロが認める完熟堆肥

<http://asagiri.info/product/>

製造販売元 株式会社 **アサギリ** 〒418-0102 静岡県富士宮市人穴 203-51
Tel.0544-52-0212 Fax.0544-52-1122

<http://asagiri.info>

土壌の水もち・水はけが良くなります (団粒構造化)

病害や、連作障害などを防ぎます

自然環境を浄化し、土壌の生態系を守ります